

恵庭市内工業団地企業の立地環境に関するアンケート調査結果について

1. 趣旨

企業誘致等に関する調査として、平成26年度に直近10年（平成16～25年度）の間に、恵庭市に立地を決定した30社を対象に、恵庭市選定の経緯等、立地動向調査を実施してきた。次のステップとして、恵庭市内工業団地の既存企業を対象に立地環境（事業環境）の調査を実施し、立地企業へのフォローアップや、今後企業が立地しやすい環境の把握を目的として、アンケート調査を実施。

2. 調査期間・対象・回答率

- (1) 調査期間 平成28年6月22日～8月5日（アンケート・データ整理分析・まとめ）
- (2) 対 象 恵庭市内の工業団地内立地企業 215社
- (3) 回 答 率 119社（回収率55.3%）

3. アンケート結果概要 ※詳細は別添配布資料を参照

(1) 現状の立地環境における満足度について

回答の中で、現状の立地環境の満足度が高い（満足、やや満足）ものと、不満度が高い（不満、やや不満）ものの上位3位は下記のとおりとなった。

★満足度

- 1位：地域周辺道路網の便（80社・68.4%）
- 2位：札幌への近接性・アクセス（78社・66.7%）
- 3位：空港利用の便（74社・63.2%）

★不満度

- 1位：現業部門の一般作業（パート等）の確保・定着（51社・43.6%）
- 2位：区画周辺の商業施設（飲食店等）の充実（47社・40.5%）
- 3位：特殊技能や専門性を有する人材の確保・定着（45社・38.5%）

《まとめ》

- 満足度の上位には、交通・アクセス面の回答が上位を占め、恵庭市の立地場所の良さが際立つ結果となった。
- 不満度については1位・3位と雇用についての意見が多く出ており、昨今の雇用情勢の厳しさを反映した結果となった。業種別では、製造業での不満度が高く、現業職の人手不足を推測させる。
- 不満度2位『区画周辺の商業施設の充実』については、区画周辺の商業施設についての不満があり、団地別では、恵庭テクノパーク、戸磯・恵南工業団地が多くを占めた。

(2) 今後、事業を拡大する場合の重要度

回答の中で、今後事業を拡大する場合における重要度が高い（極めて重要・重要・あった方がよい）ものと、不要度が高い（重要でない・なくてもよい）ものの上位3位は下記のとおりととなった。

★重要度

- 1位：自然災害のリスクの低さ（94社・97.9%）
- 2位：現業部門の一般作業者の確保・定着（92社・96.8%）
- 3位：土地・建物の価格となっている（91社・94.8%）

★不要度

- 1位：市民への自社製品の展示・物販スペースの充実（26社・27.4%）
- 2位：港湾の近接性・アクセス（25社・25.8%）
- 3位：企業間や学術機関等との連携・協力関係（20社・21.3%）

《まとめ》

- 重要度1位の『自然災害のリスクの低さ』は、東日本大震災以降、企業におけるリスク分散への強い意識が反映されたものと考えられる。
- 重要度2位の『現業部門の一般作業者の確保・定着』は、“現状の不満度”の1位でも、雇用確保の容易さが事業展開に重要視される傾向がある。3位の『土地・建物の価格』も重要視されている。
- 不要度1位の『市民への自社製品の展示・物販スペースの充実』については、製造業では必要とする企業が多い結果（8割）となっているが、他の業種では、不要と回答する企業が多く、業種によって隔たりがあった。
- 不要度2位の『港湾への近接性・アクセス』については、業種別では、製造業、卸売業・小売業の不要度が高く、販路の主体が陸路であり、航路を重視していない傾向となった。
- 不要度3位の『企業間や学術機関等との連携・協力関係』については、製造業の不要度が高い。これは、独自技術の流出を避けるためと推測される。